

令和6年度 学校関係者評価分析

【アンケート調査実施概要】

対象：保護者、児童、地域

実施：令和6年11月1日～11月15日

配布数：641件（全学年児童保護者） 213件（出席5・6年児童） 75件（地域）

回答数：365件（全学年児童保護者） 207件（出席5・6年児童） 16件（地域）

回答率：57%（全学年児童保護者） 97%（出席5・6年児童） 21%（地域）

1 学習指導について

児童

	設問	肯定的評価	
		今年度	昨年度
1	先生は、課題（めあて）について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている。	92.6	92.7
2	先生は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。	80	86.5
3	授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。	93.2	95.0
4	先生は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。	87.2	91.5

保護者

1	本校は、子どもが考えることや、課題を解決することを大切にした授業を行っている。	76.7	78.8
2	本校は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。	58.1	67.9
3	本校は、子どもが考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。	77.8	79.0
4	本校は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。	78.7	75.0

「本校は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している」については肯定的な評価が低い。「あまり思わない」「思わない」が18.4%という回答結果だった。これまでの教授的な授業ではなく、児童の主体や協働的な学びを意識した学習になると、ひたすらノートに書いたりドリル的な学習だったりが減るため、保護者にとって物足りなさを感じるのかもしれない。また、ロイロノートの活用によって紙での学習が減っているのは間違いないため、その点の理解を求めるよいのではないか。

2 生活指導について

児童

1	私は、学校のきまりを守って、行動している。	80.8	79.2
2	学校のきまりを守らない児童に先生は注意している。	69.1	89.3
3	先生に注意されたことは、理解できる。	92.6	92.1

保護者

1	本校は、学校での過ごし方やルールについて子どもに考えさせる指導をしている。	76.2	74.2
2	本校は、教員が指導した学校での過ごし方やルールについて子どもが理解している。	80.8	84.7

地域

1	通学している子どもたちは、交通ルールなどを守っている。	100	86.3
---	-----------------------------	-----	------

児童の「私は、学校のきまりを守って、行動している。」の肯定的評価が昨年度より上がっている。一方、「きまりを守らない児童に先生は注意している」に関しては、昨年度より20ポイント減となった。自分はきまりを守っているが、守っていない児童への対応の仕方に不満があると考えられる。

交通ルールに関する項目では、地域回答が100%となっているが、学校や保護者からは、交通ルールを守っていないという声が頻繁に挙がっている。この乖離の原因を探り、改善していきたい。

3 学校行事(運動会・学芸会・宿泊行事など)について

児童

1	学校行事は楽しい。	88.8	85.4
2	学校行事は達成感がある。	82.9	71.9
3	先生は、児童の意欲を大切にしている。	85.5	83.1

保護者

1	学校行事は、子どもにとって楽しい。	92.6	95.4
2	学校行事は、子どもにとって達成感がある。	93.1	94.6
3	本校は、子どもの意欲を大切にしている。	82.4	87.1

地域

1	学校行事の内容は充実している。	100	95.5
2	事前の準備や当日の案内などで、地域への配慮がある。	100	86.4

児童、保護者、地域、共に高評価である。児童の「学校行事は達成感がある。」という項目については肯定的評価が昨年度よりも高い。キッズフェスタや運動会など、児童が達成感を持てるよう学年で試行錯誤した結果に児童が納得して取り組んだ結果だといえる。

4 キャリア教育について

児童

1	自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある。	74.3	65.8
2	目標をもち、その実現に向けて努力している。	82.3	73.1
3	区立中学校に関する情報が提供されている。	57	60.7

保護者

1	本校の教員は、子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している。	64.1	57.4
2	本校は、子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている。	44.4	45.0

キャリア教育の項目に関しては、研究で進めている6年生児童と5年生児童とでは差が生じている。特に「自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある」という項目では、「あまり思わない」「思わない」という回答が5年生では26.7%、6年生では10%という結果が出ている。

5 教職員について

児童

1	先生たちは、ていねいに指導てくれる。	88.9	89.8
2	先生たちに相談できる。	78.4	78.6

保護者

1	本校は、丁寧に指導している。	85.8	86.9
2	本校は、子どものことを相談しやすい。	77.5	76.9

昨年度に引き続き、児童、保護者ともに高評価である。しかし、相談のしやすさについては、依然として肯定的評価の割合が児童、保護者共に70%台である。「チーム」としての対応を心がけ、いつでも誰にでも相談できる体制の構築を目指したい。

6 学校全般について

児童

1	学校生活は楽しい。	86.8	85.4
2	学校が好き。	75.5	75.8
3	私は、家庭で宿題やe-ラーニングでの学習をしている。	53	60.1
4	私は、塾で学習している	67.1	69.7
5	学び舎の中學に行ったり中学生が来たりする機会がある。	65.1	71.9

保護者

1	本校の学校生活は、子どもにとって楽しい。	87.5	89.2
2	子どもは、家庭で自主的に学習をしている。	59.8	62.7
3	本校は、近隣の（幼）・小・中学校で構成する「学び舎」による幼稚園・小学校・中学校の連携や交流活動が行われている。	54.3	69.8
4	本校の教育活動に満足している。	77.3	81.3
5	子どもは、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる。	75.6	74.0

学校生活の楽しさについては、児童、保護者ともに高評価である。しかし、児童の「学校が好き。」という項目は肯定的評価が依然として70%台である。児童にとって学校が安心して楽しく過ごせる居場所となるように引き続き考えていく。

自主的な家庭学習については、非常に低い結果となっている。週末の宿題がないことで、物理的に児童が勉強する時間が減っていると考えられる。

「学び舎」の交流活動に関しては、昨年度よりも大幅に下がっている。

健康、体力向上の取り組みについては依然70%台である。今年度から始めた、全校縄跳び大会等の取り組みが成果となっていくよう、引き続き活動の工夫をしていく。

本校の教育活動への満足度に対する肯定的評価が、昨年度の80%台から70%台となった。特に中学年の満足度が低い。

7 学校からの情報提供について

保護者

1	本校は、様々な便りなどで、保護者に情報を提供している。	92.1	92.0
2	「学び舎」の区立（幼稚園）中学校について情報が提供されている。	43.3	58.8
3	本校は、学校公開や保護者会などで、児童の様子が分かる。	94.8	92.7
4	本校は、ホームページやメールなどで、保護者に情報を提供している。	83.2	82.0

地域

1	学校からのお知らせ（学校だより）などにより、学校の様子が分かる。	100	95.4
2	「学び舎」の活動について、情報が提供されている。	75.1	68.2
3	学校公開や道徳授業地区公開講座などで学校の様子が分かる。	87.6	90.9
4	学校のホームページに、学校からのお知らせや学校生活の様子が分かる情報が掲載されている。	81.3	77.3

保護者、地域からは「児童の様子がよく分かる」という項目に高評価である。今後とも丁寧に発信していきたい。

「学び舎」に関する情報が、依然として保護者や地域に十分に届いていない。学校だよりやホームページを活用し、情報発信の方法を改善工夫していく。

8 学校運営について

保護者

1	本校は、保護者に学校の重点目標を伝えている。	76.5	81.3
2	校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	86	90.2

地域

1	学校の重点目標が明確である。	81.3	77.3
2	地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している。	87.6	86.4

学校運営について、保護者の肯定的評価の割合は、昨年度より低くなった。一方で、地域の肯定的評価の割合は 80%台となった。学校経営方針や重点目標に関して、声に出して伝える機会を増やしていく必要がある。

9 学校と家庭の連携について

保護者

1	私は、学校公開にすすんで参加している。	90.1	88.1
2	私は、学校行事、PTAや地域主催の行事などにすすんで協力している。	53.7	55.2
3	私は、今年度の学校重点目標を理解している。	46.5	49.7

学校公開には保護者が積極的に参加してくださっていることが分かる。「私は、学校行事やPTA行事にすすんで協力している。」という項目は肯定的回答が 53.7%と去年より下がった。また、学校の重点目標への理解も依然として 50%を切っている。学校の経営方針や取組みを積極的に情報発信し、学校への協力や理解を寄せていただけるよう努めていく。

10 地域との連携について

保護者

1	本校は、地域の人や施設を教育活動に生かしている。	85.5	86.4
2	本校は、地域の活動などに協力的である。	88.8	90.5
3	本校は、地域に情報を提供している。	67.1	71.1

地域

1	地域の人や施設を教育活動に活かしている。	100	86.4
2	学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている。	68.8	63.7
3	学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている。	87.5	81.8

地域からの評価が高い。今後とも地域に根付いた学校として、連携を深めていく必要がある。

11 学校の安全性について

保護者

1	本校は、安全な学校づくりを進めている。	84.7	83.3
2	本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。	94.2	93.7
3	本校は、自然災害時の対応を子どもや保護者に提供している。	75.9	75.9

地域

1	学校は、安心・安全な学校づくりを進めている。	100	95.4
2	学校は、安全性を高めようと地域と協力している。	100	100

保護者、地域、共に高評価であった。しかし、自然災害時の対応については、肯定的回答が依然70%台、「わからない」という回答 20.4%と十分に浸透していない。引き続き、周知の方法を検討工夫し、安全な学校づくりの推進を継続していく。

12 学校経営方針について

児童

1	二子玉川小学校が「笑顔と元気とやさしさあふれる学校」をめざしていることを知っている。	88.3	85.4
---	--------------------------------------------	------	------

保護者

1	本校の学校経営目標「笑顔と元気と優しさあふれる学校」を知っている。	73.2	77.1
---	-----------------------------------	------	------

地域

1	本校の学校経営目標「笑顔と元気とやさしさあふれる学校」を知っている。	81.8	96.4
---	------------------------------------	------	------

学校経営方針についての肯定的評価の割合が、児童、保護者、地域ともに高くなってきた。引き続き、保護者、地域に分かりやすく説明を行っていくとともに、児童、保護者、地域の声に積極的に耳を傾け、共感を大切にして、対応や支援を行っていく。

13 学校生活の充実について

児童

1	あいさつや返事をすることを意識している。	90.1	87.7
2	「二子玉川小学校4つの約束（人に親切にする・正直な心をもつ・約束を守る・勉強をがんばる）」を意識して生活をしている。	72.4	74.7

保護者

1	本校の子どもたちは、あいさつや返事をすることを意識している。	71.2	78.6
2	子どもたちは「二子玉川小学校4つの約束（人に親切にする・正直な心をもつ・約束を守る・勉強をがんばる）」を意識して生活をしている。	58.9	66.2

地域

1	本校の子どもたちは、あいさつや返事をすることを意識している。	81.3	81.9
2	子どもたちは「二子玉川小学校4つの約束（人に親切にする・正直な心をもつ・約束を守る・勉強をがんばる）」を意識して生活をしている。	62.5	72.7

児童はあいさつを心がけているが、保護者はそうは思っていない、という結果である。出会った人にはしつかりあいさつをするよう促すなど、日常的に心がける必要がある。4つの約束に関する認知が低い。朝の放送等で、毎日どれかの項目について触れていくとよい。

14 地域運営学校の取り組みについて

保護者

1	本校は、地域運営学校として、地域・保護者・地元企業などの学校協力者等とのつながりを大切にし、みんなで「地域の子」を育てている。	73.2	80.3
2	本校は、「クリーンタウン作戦」「かるがもプロジェクト」「あいさつ運動」など、地域の方や保護者、地域の中学校、高校、大学、地元企業などと連携しながら教育活動を行っている。	90.1	91.0

地域

1	本校は、地域運営学校として、地域・保護者・地元企業などの学校協力者等とのつながりを大切にし、みんなで「地域の子」を育てている。	93.8	90.9
2	本校は、「クリーンタウン作戦」「かるがもプロジェクト」「あいさつ運動」など、地域の方や保護者、地域の中学校、高校、大学、地元企業などと連携しながら教育活動を行っている。	93.8	90.9

全体的に高評価であるが、依然「分からぬ」という保護者の評価の割合が10%、否定的評価が約10%である。地域運営学校についての取組についてより分かりやすい情報提供に努めていく。

15 特色ある教育活動について

保護者

1	本校は、「愛鳥活動」や「水辺の楽校」等の地域の特色を生かした学習（生活科、社会科、総合的な学習の時間等）を展開している。	93.4	93.7
2	本校の特色ある教育活動は、「地域を愛する心」「他者を思いやる心」など、子どもたちの豊かな心の育成やウェルビーイングの向上を目指している。	73.7	69.4

地域

1	本校は、「愛鳥活動」や「水辺の楽校」等の地域の特色を生かした学習（生活科、社会科、総合的な学習の時間等）を展開している。	93.8	90.9
2	本校の特色ある教育活動は、「地域を愛する心」「他者を思いやる心」など、子どもたちの豊かな心の育成やウェルビーイングの向上を目指している。	81.3	90.9

保護者、地域ともに高い評価を得ている。しかし、「本校の特色ある教育活動は、「地域を愛する心」「他者を思いやる心」など、子どもたちの豊かな心の育成やウェルビーイングの向上を目指している。」の項目については、今年度、質問の仕方を変更したが、保護者の肯定的評価が70%台に引きあがった。本校の教育活動の特色について、より具体的に分かりやすく説明をし、理解をしていただけるように努めていく。

【全体的な総括】

- ☆生活指導や保護者対応など、チームとしての取り組みを強化し、保護者の「わからない」という回答を減らしていきたい。特に1年生の保護者には伝わっていないことが多く、経営方針等、学校が目標とするところは常に伝え、本校の教育活動に対して肯定的な考えを高めていく必要がある。
- ☆学習に対する保護者の不安が大きいように思える。知識を詰め込むのではなく、生活に落としめるよう思考力や判断力を高められるような学習活動を展開していきたい。
- ☆適切な情報発信に努め、子供たちと共に育てているという意識を高められるようにしたい。